



南部高校マンスリータイムズ 2015年10月号

—地域に根ざし地域に貢献する地元高校を目指します!!—

2015 紀の国わかやま国体 関連ニュース

山岳競技 南部高校でも開催

第70回紀の国わかやま国体が、9月26日から県下各地で始まりまし

た。みなべ町では、山岳競技と成人男子の軟式野球とが開催されました。

10月3日から3日間行われた山岳競技では、南部高校がリード競技の会場となり、県内外の方々に賑わいました。雲ひとつない青空にそびえ立つクライミングウォールを力強く上って

いく選手を観ながら、ハラハラ、ドキドキ。思わず力が入ってしまいました。完登（ルート頂上まで登る）した選手には、まるで自分が登り切ったかのような達成感と一体感を感じました。最終日の5日にはスポーツ庁長官に就任したばかりの鈴木大地さん（88年ソウル五輪水泳金メダリスト）も来校されました。午後7時からの総合表彰式をもって、全日程を無事終了しました。



南部高校生も、競技補助役員や、お土産のジャムとマドレーヌを配付するおもてなしボランティア、花の管理と会場美化・お弁当配付のボランティア、そして応援という形で参加し、競技の成功に大きな貢献をしてくれました。

南部高校をあげてのビッグイベント。生徒のみなさんにとっても、貴重な経験とよい思い出になったのではないのでしょうか。



成年軟式野球・女子成年バレーボール

軟式野球競技に農業科の作野先生が、女子バレーボール競技に体育科の小山先生が出場しました。

軟式野球は、10月2日に上富田スポーツセンターで行われ、オール和歌山は神奈川県と対戦しました。4回に1点先行されましたが、9回裏に執念で追いつき延長戦へ突入しました。作野先生は、2本のヒットで出塁しましたが、得点に結びつかず、16回まで息詰まる投手戦を展開しましたが、残念ながら1-3で惜敗しました。

女子バレーボールは、9月27日に紀北工業高校にて行われ、和歌山教員チームは福岡県と対戦しました。4セットまでは一進一退の展開となり、決着はフルセットまで持ち込まれました。結果は、セットカウント3-2で2回戦への進出は果たせませんでした。

お二人の先生方、本当にお疲れさまでした。

津波避難訓練を実施

～緊迫感の中、整然と避難～

10月16日、中間テスト終了後、南海大地震による津波を想定した避難訓練が、全校生徒を対象に行われました。本校では、津波警報発令時の避難場所を学校裏手にある猪ノ山山頂の広場としています。

11:00に地震発生と想定し、揺れがおさまった3分後に非難を開始しました。避難場所に最も早く全員集合できたクラスは、避難開始から17分38秒後でした。



全クラスとも20分余りで避難及び安全確認をすることができました。

みなべ町が出している「津波ハザードマップ」によると、南部高校周辺には2～5mの津波による浸水が予想されています。



「みなべ町津波ハザードマップ」(みなべ町HPから)

また、5mの津波が到達する時間は約15分、10mでは約24分となっています。

今回は20分で避難できましたが、さらなる迅速な避難と、様々な状況を予想し対応できるよう準備が必要だと思います。

「マンスリータイムズ」は南部高校のホームページでご覧になれます。(アドレス)<http://www.minabe-h.wakayama-c.ed.jp/>
〒645-0002 日高郡みなべ町芝407 (TEL)0739-72-2056 (FAX)0739-72-2394
南部高校は、保護者や地域の方々に情報を発信することにより、より地域と密着した地元高校を目指しています!!